

様式1-1 キャリア・プランシート(就業経験がある方用)

令和 × 年 × 月 × 日現在

ふりがな	にっぽん たろう	生年月日	昭和 60 年 9 月 15 日
氏名	日本 太郎		
ふりがな	まるまるけんさんかくさんかくしちゅうおういっちょうめ	電話	090 - 1234 - 5678
連絡先	〒 111 - 2222 〇〇県△△市中央1丁目1-6	メールアドレス	tarou.s@xx.xx

価値観、興味、関心事項等

(大事にしたい価値観、興味・関心を持っていることなどを記入)

私の信条は、何事も目立たず、控えめで、背伸びをせず、少欲で、決して人と争わないことです。特にサポート役に徹したい。仕事で成果が出たときはサポートされた主役から「おかげさまで〇〇できました。ありがとうございました」とお礼を言われるのはまだまだだと思いたい。主役に心底「これは俺がやったんだ」と思わせるくらいのレベルであることが理想である。
人員整理で幾多の仲間が転職を余儀なくされた経験から、これからは個人個人という人の職業人生の転機に直接関われる仕事に就きたいと思っている。
また、短期成果主義による人事評価制度についても問題意識を持ちます。

強み等

(自分の強み、弱みを克服するために努力していることなどを記入)

通信機器業界の営業としての経験から以下の点を自己PRしたい。
・人の話を聴くことが好きである
・業界の慣習や人脈に関する知識
・製造業の組織や生産方式に関する知識
・係長としての経験(指導・教育、人員配置など)
なお、様々な業界に関する幅広い知識と人の心理についての知識不足は今後の課題である。

将来取り組みたい仕事や働き方等

(今後やってみたい仕事(職種)や働き方、仕事で達成したいことなどを記入)

現在営業職であるが、社内公募に応募し、一般事務として、特に総務・人事関連事務として社員のキャリア形成に関わる仕事を目指したい。キャリア形成支援の専門家として社員一人一人のモチベーション向上と会社の業績アップに貢献することが当面の目標である。ゆくゆくは、社員のキャリア形成に重点を置いた新しい人事制度の確立が夢である。
ジェネラリストとして経営に参加する道は選ばず、一スペシャリストとして生涯働ける道を選びたい。

これから取り組むこと等

(今後向上・習得すべき職業能力や、その方法などを記入)

営業職から事務職への異動はスペシャリストでないとむづかしいので、まずは資格取得に動く。具体的には国家資格であるキャリアコンサルタントを取得し、現職場への説得と社内公募のアピールとしたい。ねらい目は”キャリアドッグ”に関心を示している経営トップに個人のキャリア形成が会社の業績、そして企業の社会的貢献にどうつながっていくかを訴えることである。ここは他社の具体例など厚生労働省の情報等を参考としたい。特に業界を超えた幅広い視野をもって考えていくことが重要である。
一方、異動後は個人面談の数をこなし、様々な臨床経験を積むことによって個人的にカウンセリングのレベルアップを図ることは不可欠であることを理解している。

その他

(以上から、自己PRやキャリアコンサルティングで相談したいことなどを自由記入)

希望訓練：専門実践教育訓練 〇〇協会 キャリアコンサルタント養成講座 今秋～半年間(土・日、祭日)

様式2 職務経歴シート

氏名 日本 太郎

令和 × 年 × 月 xx 日現在

職務経歴			
No.	期間(年月～年月) (何年何ヶ月)	職務の内容	職務の中で学んだこと、 得られた知識・技能等
	会社名・所属・ 職名(雇用形態)		
1	平成 19 年 4 月 ～ <small>現在に至る</small> 年 月 (13 年 3 ヶ月)	業種：通信機器製造業 通信機器メーカーの営業として、大手電子機器メーカー向けに光通信装置を販売。勤務地は東京、大阪共に5年。	デジタル光通信の最先端技術を学ぶ。顧客が技術屋の為、通り一遍の知識では通用せず、常に最先端の通信方式の知識が必要とされた。 技術革新のスピードの速さと、ビジネスチャンスの期間の短さ、高額な開発投資。的確なマーケティングの重要性を学ぶ。 人員整理を通して、個人の生活を守ることと会社の存続という重いテーマを背負うこと
	株式会社〇〇電子 営業部 係長 (正社員)		
2	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)	()	
	()		
3	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)	()	
	()		
4	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)	()	
	()		
5	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)	()	
	()		
6	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)	()	
	()		

様式3-1 職業能力証明(免許・資格)シート

氏名	日本 太郎
----	-------

No.	免許・資格の名称	免許・資格の実施・ 認定機関の名称	免許・資格の内容等
	取得時期		
1	普通自動車第1種運転 免許	〇〇県公安委員会	
	平成 19 年 7 月		
2			
	年 月		
3			
	年 月		
4			
	年 月		
5			
	年 月		

(注意事項)

- 1 「免許・資格の内容等」欄には、必要に応じて、免許・資格付与の基準・目安等も記入(又は添付)してください。
- 2 原則として、本シートを生涯にわたって活用していく中で、免許・資格の取得の都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。また、応募書類とする場合は、応募先の業務で必要な資格等の書類等(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。
- 3 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。
- 4 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。
- 5 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

様式3-2 職業能力証明(学習歴・訓練歴)シート

氏名	日本 太郎
----	-------

No.	期間	教育・訓練機関名	内容等
		学科(コース)名	
1	平成 13 年 4 月 ～ 平成 16 年 3 月	〇〇県立△△高等学校	通学に片道1時間半という遠距離通学を3年間経験。弓道部に所属、〇〇県大会で団体準優勝。
		普通科	
2	平成 16 年 4 月 ～ 平成 20 年 3 月	〇△□大学	ゼミは「独占企業論」。マルクス経済学を中心に学ぶ。ほとんどの学生が銀行、商社を選択する中でモノづくりにこだわり、文系にもかかわらずあえて製造メーカーを選ぶ。 水泳の同好会に所属。
		商学部	
3	年 月 ～ 年 月		
4	年 月 ～ 年 月		

(注意事項)

- 1 原則として、中学校卒業以降の学校、教育訓練機関での学習歴を記入してください。
- 2 「内容等」の欄には、教育・訓練の内容とともに、学んだこと・得られたことも記入します。
- 3 教育・訓練を修了した都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。
また、応募書類とする場合は、応募先の業務で必要な修了証等の書類(写本)を添付する等、可能な範囲で書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。